

市道5,700メートルを 舗装・改良

昭和54年度施政方針

市長演説要旨

基本方針

国の昭和五十三年度予算は、景気回復のために公共事業の拡大優先策をとるほどの厳しいものでした。当市においては、財源確保のための文化観光施設税が引き続き認められ、社会資本充実のための諸事業が予定どおり進んでいます。現在の経済情勢は、高度成長から安定成長に移行する過程ですが、深刻な経済不況が長期化しており、

厳しい情勢の中で

行財政の

健全化を維持

その結果、国も地方もかつてない財政危機に陥っています。五十四年度は景気回復のきざしがあると伝えられていますが、物価上昇の機運がみられ、本年もまた厳しい年になると思われれます。このような情勢の中で過疎化現象に対処し、増大し多様化している市民の要望に応じながら市民福祉向上と市の発展を図るためには、

予算規模

総額で五十六億

五千六百七十万円

基本方針と振興計画をもとに、経常経費の増加を抑え投資的経費に重点配分をした、新年度の各会計予算額は次のとおりです。昭和五十四年度の予算規模は、一般会計が四十六億四千六百万円、前年と比較しますと一三・七％の伸びになります。特別会計は、国民健康保険事業が六億二百四十五万九千円、ユースホステル事業費は一千五百二十七万円、小来川診療所費が二千四百二十一万

九千円です。企業会計は、リフト事業会計が収益的支出一億二千二百七十九万三千円、資本的支出二千八百十六万円。水道事業会計は収益的支出一億八千五百四十九万三千円、資本的支出三千二百三十三万六千円です。一般会計と特別会計、企業会計を合わせると総額五十六億五千六百七十万円になり、前年と比較しますと一〇・一六％の伸びになります。

ことし行う主な仕事

(単位千円)

都市関係	
市道の舗装と改良に	154,330
橋りょうの整備に	156,720
河川などの整備に	12,670
土地区画の整理に	31,780
街路用地の取得に	30,900
生活環境関係	
下水道の整備に	359,257
ゴミの収集に	26,691
し尿くみ取りに	60,733
保健防疫に	17,853
環境の美化に	23,900
斎場関係に	8,609
住宅関係	
市営住宅の建設と補修に	131,285
宅地の造成に	77,149
市民の住宅資金に	50,000
福祉関係	
恵まれない方のために	155,728
身体障害者福祉に	3,853
精神薄弱者福祉に	13,442
老人福祉に	149,162
児童福祉に	44,414
母子福祉に	7,011
教育関係	
校舎の建設と整備に	191,920
学校の備品購入に	24,860
父母負担の軽減に	30,042
奨学資金の貸し付けに	7,940
市立図書館の充実に	5,400
社会教育に	12,680
文化財の保護に	5,193
日光小の建設基金に	104,000
広域行政の負担金に	7,711
市民の体力づくりに	3,690
体育施設の整備に	13,436
スケートセンターの補修に	7,760
国体の準備に	24,456
国体施設整備基金に	30,450
商工・観光関係	
観光宣伝に	2,970
観光協会の振興に	14,775
自然公園の整備に	57,556
中小企業の振興に	140,000
市場関係に	13,262
防災関係	
防災施設の整備に	8,450
消防自動車などの購入に	17,879
救急医療に	2,000
公有財産購入に	5,546
交通施設の整備に	9,363
交通安全に	3,120
農林業関係	
農道の舗装に	41,900
林道の整備に	44,603
農林業対策に	14,357
その他	
庁舎の建設基金に	53,000
国保会計の繰出金に	30,000
市民号などの購入に	14,395